

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和5年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

食 物 栄 養 学 専 攻

〔 英 語 〕

試験日：令和5年1月28日(土)

注 意

1. 問題1，問題2，問題3の全問を解答すること。
2. 解答は，別添の解答用紙（2枚同封）を使用すること。
3. 使用する解答用紙に受験番号，氏名を記入すること。
4. 総ページ数 － 6ページ（1ページ目は下書き用紙）

(下書き用紙)

問題1 下の英文は食物アレルギーを診断するための血液検査について解説した文章である(出典 <https://www.foodallergy.org/resources/blood-tests>)。下線部①～④を翻訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

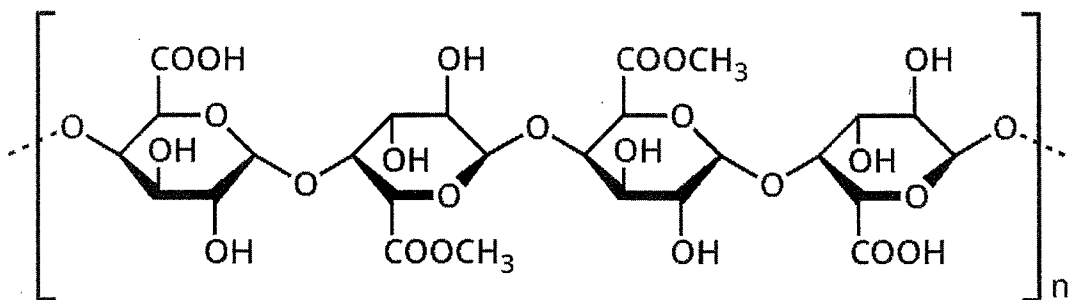
<註> allergist=アレルギー専門医
skin prick test=プリックテスト
legume family=マメ科植物
green bean=インゲンマメ

問題 2 下の英文はジャムが固まる条件について解説した文章である（出典 <https://www.compoundchem.com/2014/09/22/what-makes-jam-set-the-chemistry-of-jam-making/>）。
下線部①～④を翻訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

<註> set=固まる、固める



PECTIN
(typical chemical structure)

問題3 次の日本語の文章を英文に翻訳しなさい（出典：消費者庁ウェブサイト https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/food_safety_portal/other/contents_001/）。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

<註> ヒスタミン食中毒=histamine poisoning、ヒスチジン=histidine。
マグロ=tuna、ブリ=yellowtail、サンマ=pacific saury、サバ=mackerel、
イワシ=sardine。